

修学旅行 ご出発ガイド

出発空港ご集合から、到着までをご説明いたします。

出発の
2時間前
までに



搭乗手続き
の開始

出発の
60分前
までに



保安検査場
の通過

出発の
30分前
までに



搭乗口へ

出発



出発時刻は
飛行機が
動き出す時間です

空港へ集合[搭乗手続きの開始]

- ・ 集合時間によっては空港が混雑することもあるため、空港には出発時刻の2時間前までにご集合をお願いします。
- ・ 早朝便ご出発の場合は、旅客カウンターのOPEN時間に合わせてご集合をお願いします。

<https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/departure/airport/>

- ・ 提携社ご利用の場合は、提携社ホームページにて旅客カウンターのOPEN時間確認をお願いします。(提携社=AIRDO、ソラシドエア、スターフライヤー)

出発の
2時間前
までに

ご搭乗手続き

- ・ 空港ご到着（ご集合）後、代表者（添乗員）の方は、出発ロビー内団体カウンターにて搭乗手続きをお済ませください。
- ・ 「ご搭乗券」はお一人ずつ確実に配布してください。

手荷物のお預け

- ・ お預かりする手荷物は、搭乗手続き後速やかに手荷物カウンターにお持ちください。
- ・ お預けになる際は、お手元に「ご搭乗券」をご用意ください。「手荷物引換証」は手荷物引き取りまで大切に保管してください。
- ・ 当日の状況により、有人カウンターか自動手荷物機をご案内いたします。



<https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/preparation/checkin/baggedrop/>

出発の
60分前
までに

保安検査場の通過

- ・ 保安検査場に設置されたリーダーに、「ご搭乗券」の2次元バーコードをタッチしてください。
- ・ 手荷物の確認とボディチェックをお願いします。



出発の
30分前
までに

搭乗口へ

- ・ 改札機に保安検査場でタッチしたものと同一「ご搭乗券」の2次元バーコードをタッチしてください。



出発



出発時刻は
飛行機が
動き出す時間です

- ・ ご搭乗順はゲート係員がご案内させていただきます。
- ・ 機内持ち込みお手荷物は、スーツケース等はお預けいただき、お手回り品とお手荷物1個となるようご協力をお願いします。

到着

手荷物受け取り

- ・ ご搭乗便名が表示された手荷物受け取りターンテーブルからお引き取りください。
- ・ 手荷物お預かり時にお渡しした「手荷物引換証」と「手荷物タグ」の番号を照合したうえお引き取りください。取り違えにはご注意ください。

チェックイン前のPOINT

非常口座席の着席制限について

修学旅行の座席指定の際、やむを得ず非常口座席を指定する場合があります。非常口座席がアサインされた場合は着席制限をご確認の上、緊急脱出時の援助実施について添乗員ならびに学校関係者の方へ同意確認を行っていただきますようお願いいたします。

■非常口座席の着席制限について（下記 6 項目をすべて満たすお客様に限り着席いただけます）

- ① 満 15 歳以上の方
- ② ご搭乗に際して付き添いの方や係員のお手伝いを必要としない方
- ③ 航空機ドアの開閉等、緊急脱出の援助を実施することができる方
- ④ 脱出手順の案内及び乗務員の指示を理解し、他のお客様へ口頭で伝えられる方
- ⑤ 緊急脱出時に同伴者の援助をする必要のない方
- ⑥ 緊急脱出の援助を実施することに同意する方

預ける手荷物のPOINT

- ・手荷物をお預けになる際は、出発 60 分前に保安検査場を全員通過、30 分前に搭乗ゲートに再集合できるよう、ご出発の 2 時間前に空港集合、搭乗手続きの開始をお願い致します。
- ・預入制限品・壊れやすい物・財布は必ず検査前に取り出すようお願い致します。
- ・モバイルバッテリーを入れて預けることは出来ません。

重量

サイズ

個数



- ・ 普通席
お一人様あたり23kg
まで無料



- ・ 3 辺（縦、横、高さ）の
合計が 158cm 以内



- ・ 2 個まで

貴重品や壊れやすいものは、機内持ち込み手荷物に入れよう！

手荷物引き換え証は到着まで大切に保管しよう！

似たようなスーツケースがたくさんあるので受け取る際には確認しよう！

スマートフォンなどの電子機器類は機内持ち込み手荷物に入れよう！

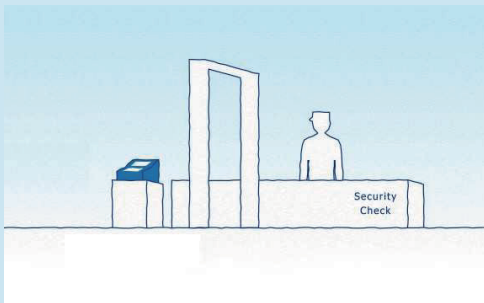
手荷物にはぬいぐるみやキーホルダーなど壊れやすいものはつけないようにしましょう！

口の開いた紙袋やお土産袋は、中身がこぼれないよう予めテープでふさぐなど準備しよう！

スムーズな保安検査場通過のPOINT

- ・機内持ち込み手荷物内のペットボトルや水筒は予めかばんから出し、検査がスムーズに行えるようご協力をお願いいたします。→保安検査場での液体物の検査は、係員がおいをチェックするなどして、危険物でないか確認をしています。
- ・財布／携帯電話／腕時計／身に付けている金属類（鍵束、ベルト、小銭、等）は、あらかじめかばんの中に入れるか、備え付けのカゴに入れて検査を受けて下さい。
- ・コート・ジャケット等の上着類はあらかじめ脱いで備え付けのカゴに入れてください。
- ・ブーツ、くるぶしを覆う靴等は検査が必要となります。
- ・パソコンやタブレット等の電子機器類はかばんから出してください。
- ・ハサミ・工具など機内へお持ち込みできないもの、スプレー缶やキャンプ用ガスなどお預かりもお持ち込みもできないものがございます。詳しくはANA ホームページの「機内持ち込み・お預かりできないもの」をご覧ください。

<https://www.ana.co.jp/ja/jp/domestic/prepare/baggage/limit/caution-restriction.html>



特に注意が必要な手荷物

爆発の恐れがあるもの、燃えやすいもの、航空機や旅客および搭載物に危険を及ぼす恐れがあるものは、機内へのお持ち込みもお預けも出来ません。

分類・条件	花火クラッカー GAS	ハサミ カッター コンパス	スプレー缶※1	ヘアアイロン・ヘアスタイリング器具				モバイル バッテリー ※4	
	爆発物 燃えやすいもの	凶器になるもの	化粧品類 医薬品類	コンセント式	ガス式 (炭化水素ガスが充填されたもの)	電池式 (コードレス)※3			
持ち込み	×	×	○	×	○	×	○	×	○
お預け	×	○	○	×	○	×	○	×	×

※1 化粧品類はヘアスプレー、制汗スプレー、医薬品類は殺菌・消毒スプレー、冷却スプレーなど。

※2 お一人様1個まで。予備のガスカートリッジは持ち込み、お預けとも不可。

※3 電池がリチウムイオン電池の場合、取り外した電池は機内持ち込みのみ可（お預けは不可）。

※4 お一人様2個まで。ワット時定格量が160Whを超えるものは不可。

搭乗口でのPOINT

ご搭乗順についてのご協力お願い

- ・ご搭乗順はゲート係員がご案内させていただきますのでご協力お願いします。
 - ・一般のお客様より優先して機内へご案内させていただくことがございます。
 - ・窓側や通路側等、座席位置に応じてご搭乗をお願いする場合もございます。
- その場合、クラス別での搭乗など出来ない場合がございますのでご了承ください。

機内でのお願い

機内持ち込み手荷物ご協力お願い

- ・機内へ持ち込める手荷物は、身の回り品1個 + 手荷物1個の合計2個までで、総重量10kg以内です。

※身の回り品（例：ハンドバッグ・ショルダーバッグ等）のサイズは、前の座席の下に収納できる大きさ、かつ「40cm×30cm×20cm以内」としてください。
 ただし、客室内に収納できない場合は規定サイズ内でもお預かり手荷物とさせて頂く場合がございます。
 スーツケースやボストンバッグなどの大きな手荷物はお預け頂きますようご協力をお願いします。

100席以上の場合



100席未満の場合



重量

お一人様**10kg**以内まで

（手荷物＋身の回り品の総重量）

サイズ

100席以上の場合

3辺（縦・横・高さ）の和が115cm以内
 かつ3辺それぞれの長さが
 （55cm × 40cm × 25cm以内）

100席未満の場合

3辺（縦・横・高さ）の和が100cm以内
 かつ3辺それぞれの長さが
 （45cm × 35cm × 20cm以内）

* キャスターやハンドルの長さも含まれます

個数

お一人様手荷物**1個**と

身の回り品**1個**まで

* 空港でお買い求めいただくお土産なども含めた個数です。

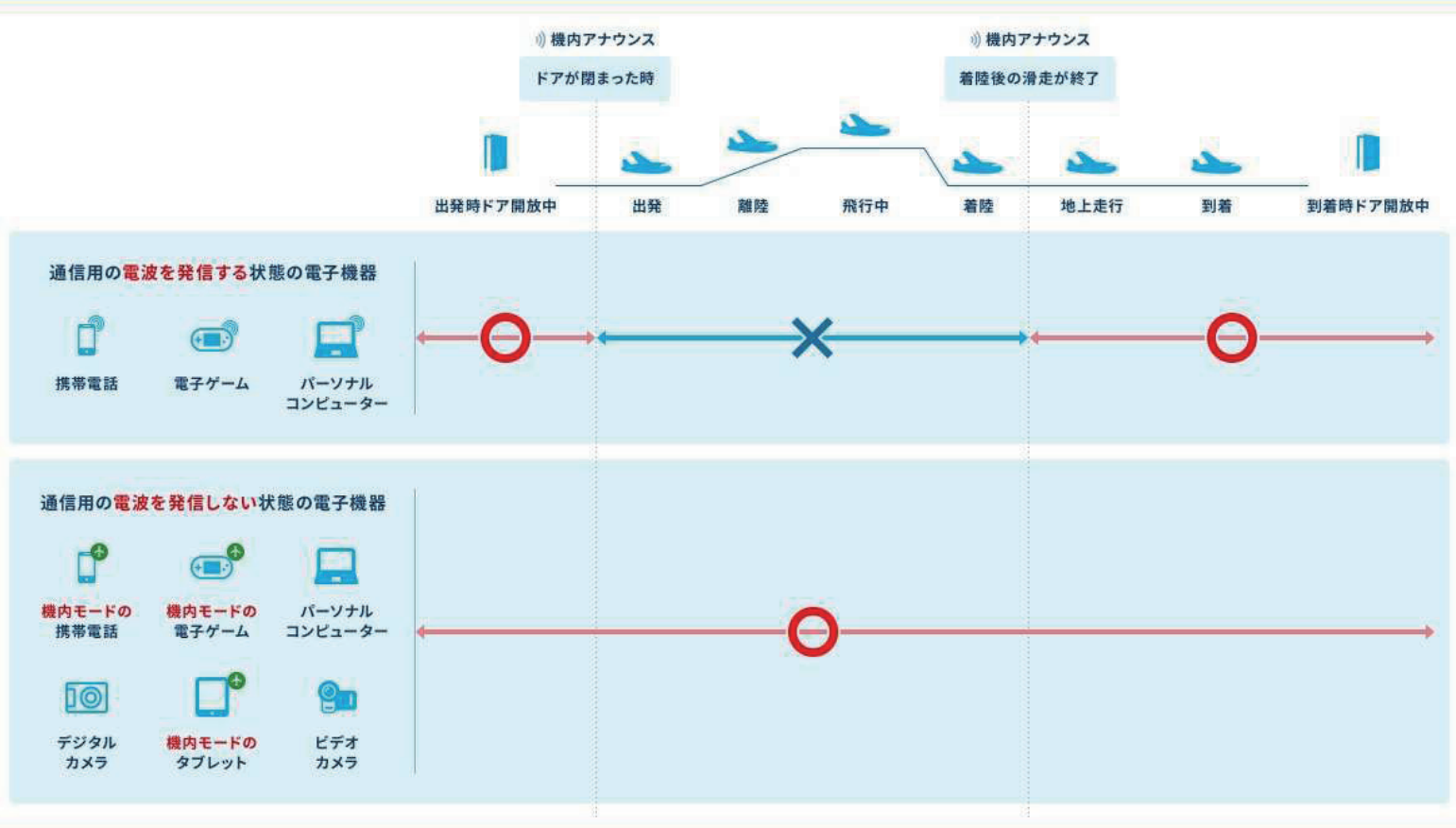
- ・着席後は荷物を前の座席の下や上の物入れに入れてください。座席上の収納棚はスペースが限られます。前の座席の下に収納の際には荷物が汚れないように汚損防止カバーを搭乗口にご用意しておりますのでご利用ください。（機内混雑緩和のため、予め手荷物にカバーをかけた状態で機内へとお進みください。）
- ・開封済みのペットボトルや水筒は水漏れの恐れがあるため、座席上の物入れには入れないでください。
- ・機内ではベルト着用サイン点灯の有無にかかわらず、急な揺れに備えて常に座席ベルトをお締めください。（化粧室を使用される場合は、ベルト着用サインが消えている間にご利用下さい。）
- ・救命胴衣や酸素マスクなどの非常機器や乗降口の扉にむやみに触らないでください。故意でなくても再度点検や整備の為、遅延に繋がる恐れがございます。
- ・通信用の電波を発信する電子機器の使用は、航空機の安全運航に支障を及ぼす恐れがあるため、飛行機のドアが閉まりましたら機内モードに設定するか、電源をお切りください。

収納例



機内における電子機器の使用制限について

国内線の飛行機内におけるスマートフォンを含む電子機器の使用についてのご案内です。



通信用の電波を発信する状態の電子機器について

- ・ 出発時「飛行機のドアが閉まった時」から「着陸後の滑走が終了する時」まで、通信用の電波を発信する状態の電子機器はご利用になれません。飛行機のドアが閉まりましたら、電波を発信しない状態（設定）にするか、電源をお切りください。客室乗務員がアナウンスにてお知らせいたします。着陸後の滑走が終了し、客室乗務員からのアナウンス後は、すべての電子機器がご使用になれます。

作動時に通信用の電波を発信する状態にあるもの。

（出力 100 ミリワット以下のものを除く）

- ・ 航空機外の設備と無線通信を行う状態にあるもの。

携帯電話（スマートフォン含む）／パーソナルコンピューター／携帯情報端末／電子ゲーム機／携帯型データ通信端末

- ・ トランシーバー

- ・ 無線操縦玩具

- ・ ワイヤレスマイク

※機器同士の Bluetooth 接続（ワイヤレスマウス、ワイヤレスヘッドホン、医療機器等）や Wi-Fi 接続（電子ゲーム機等）は常時ご使用になれます。また、機内無線 LAN システムを装着している機材では、必ず「電波を発信しない状態（設定）」に設定したうえでご使用ください。なお、無線通信の対象が「航空機外」とならない場合に限るため、モバイル Wi-Fi ルーターや公衆無線 LAN 等への接続はご利用になれません。

通信用の電波を発信しない状態の電子機器について

常時ご使用になれます。（DVDプレーヤー／デジタルカメラ／デジタルオーディオ機器など）

機内での注意事項・その他

モバイルバッテリーの取り扱いについて

- ・預入手荷物へのお預け入れはできません。
- ・ワット時定格量は 160Wh 以下までのものに限り機内持ち込みが可能です。
- ・1 名様につき、2 個までが機内持ち込み可能です。
- ・ショート防止のため、端子部分をテープで保護、もしくはビニール袋に入れて絶縁処理を実施してください。
- ・機内充電からモバイルバッテリーへの充電は禁止です。
- ・モバイルバッテリーから電子機器への充電はお控えください。

非常用設備について

非常用機器（救命胴衣・座席上の酸素マスク等）を操作・移動する行為は航空法で禁止されております。故意でなくとも再点検や整備により、遅延に繋がる恐れがございます為、むやみに触らないでください。

お弁当持ち込みでのお食事について

お弁当やお飲み物を持ち込んで機内で飲食することは可能です。

機内でお食事を召し上がられた際などのゴミ回収は、客室乗務員が降機時までに状況に応じて回収させていただきます。

おからだの不自由な方に関するご案内

ご搭乗に際し、ご不明な点やご不安をお持ちのお客様は「ANA おからだの不自由な方の相談デスク」に遠慮なくお問い合わせください。



0120-029-377 / 0570-029-377 (携帯電話)

9:00 ~ 17:00

年中無休